

名前：

今、インターネットが便利に使えるようになっていて、普段新聞や雑誌などを見ない人もインターネットで時事を知るようになってきた。そこで、ある人は新聞と雑誌の必要性を疑い、インターネットだけで十分だと思っているが、私は新聞と雑誌が欠かない存在だと考えている。

新聞は古くから人々にお知らせを伝える方法であり、了人の思想や創作を発表するところでもある。現在、昔より多様性や専門性の新聞が出版されていて、社会の人達に好みによって選ばれるようになった。インターネットの便利が高い今でも、それほど専門な知識などがないと思う。そのうえに、パソコンはどこにでも持たれるものじゃない。ノートブックがあっても、いつも持っていて、インターネットでニュースを見るわけがないと思う。そのかわりに、新聞と雑誌は持ちやすく、通勤や待ち合わせをする時、すぐ読まれることができる。これは時事を知りたくて時間がな

い忙しい現代人にとって、新聞と雑誌は欠かないものと思う。

確かに、インターネットはとても便利で、関連記事の検索も短い時間でできる。受験生などの人にとって、近年の同じジャンルの記事を組み分けたいなら、インターネットが一番速い方法だと思う。というわけで、私はインターネットと新聞など両方現代人にとって欠かないものと思う。時事を知るため、一つの手段だけで損になることがあり、事件の全容が分らないこともある。いろんな方法で詳細を得るため、インターネットと新聞どちらも欠かない存在と思う。

だ